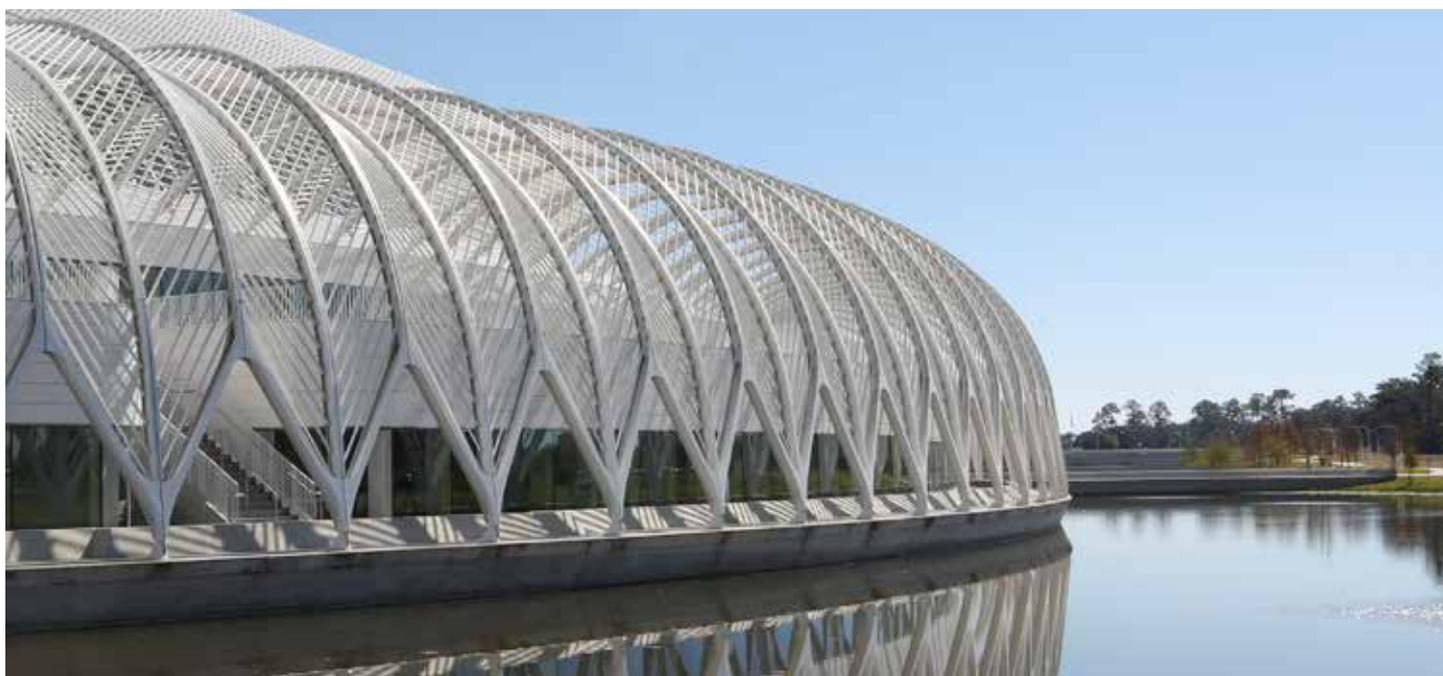


# スタートアップ教育機関に イノベーションセンターがもたらす価値



## フロリダポリテック大学について

フロリダポリテック大学はフロリダ州で 12 番目に創立された最も新しい大学です。STEM 科目(サイエンス、テクノロジー、エンジニアリング、数学)における実習および応用研究に重点を置いており、学生たちが専攻する科目はビッグデータからナノテクノロジーまで多岐にわたり、プロジェクトに基づいた学習や産業界におけるパートナー下でのインターンシップを通じて、先進性のある問題解決やハイテク分野での専門家を目指しています。同校は、フロリダ・ハイテクコリドーに位置するオーランドとタンパの中ほどのレイクランドにあり、500 人強の学生を迎え 2014 年 8 月に開校しました。

## 課題

フロリダポリテック大学は、野心的な新しい大学として STEM における実習や起業家精神に興味を持つ学生や教職員にとつて魅力的であるとともに、厳格な研究プログラムを設立する必要性がありました。ランディ・K・アヴェント学長は、「当大学の学生は登校して来たその日からものづくりを始めています」と述べています。フロリダポリテック大学は従来の大学とは異なり、次世代教育のモデル校であることを示さなくてはなりません。さらに、アヴェント学長は、「私たちはゼロからのスタートであったため、自分たちが正にやりたいと思うプログラムを構築し、インフラの整備に取り掛かりました」と述べています。フロリダポリテック大学のメインビルディングは正に最先端の象徴的な建物で、州間高速道路 4 号線で一際目立つ存在です。彼らは、そこに次世代のエンジニアや起業家を育成するため新たな技術を備えた研究室を設ける必要性がありました。



## MakerBot Success Stories



また、数十社の産業パートナーとの関係を深め、同大学の学生をインターンシップや就職の際の有望な人材候補に育てたいと考えていました。

### ソリューション

フロリダポリテクニク大学は 2014 年秋の開校時に合わせて、デスクトップ 3D プリンティングの世界的リーダー企業である MakerBot と提携し、MakerBot イノベーションセンター (50 台以上の 3D プリンタ MakerBot Replicator® を設置) を開設しました。このメーカースペースであるセンターは、メインの教育校舎の中心に位置し、ホールを隔てた向かいには IBM のスーパーコンピュータがあります。「今後トレンドとなるテクノロジーに投資して、前線に出て行くタイミングでした」とフロリダポリテクニク大学のトム・ハル副学長兼最高情報責任者が語っています。



MakerBot は業界で成功していました、

当大学がテクノロジーとカリキュラムをつなぐには何が必要かを理解し、

それが彼らのソリューションであると確信したからです。

そして、当大学の可能性を広げることに大きく貢献してくれました。

フロリダポリテクニク大学の MakerBot イノベーションセンターには、コンパクト 3D プリンタの MakerBot Replicator Mini、デスクトップ 3D プリンタの MakerBot Replicator や MakerBot Replicator Z18 など、あらゆる種類の MakerBot 3D プリンタの第 5 世代テクノロジーが揃っており、多数の MakerBot Replicator をシームレスに管理するソフトウェアソリューションの MakerBot イ



ノベーションセンター・マネジメントプラットフォームにネットワークでつながっています。イノベーションセンターのパッケージには、設置やサポート、MakerBot に関する数週間の研修も含まれています。

### メリット

「MakerBot イノベーションセンターでは、学生、教職員、そして私たちのパートナーの方々は需要が高く、最先端のものを体験することができます」とハル副学長は述べています。教授たちは 3D プリンティングを研究や授業に取り入れることができ、メーカースペースで授業を行うと、学生は 3D プリンタを使って各自で実際に体験することが可能です。さらに、ハル副学長は以下のように述べています。「大学の研究室でコンピュータを使った実習というのは、1980 年代では先端技術でした。現在はこれが将来の新技術です。」メーカースペースは全学生が利用できるため、誰でも今まで作ったことがないものを作り出すことができます。就職やインターンシップ、あるいは新規事業を立ち上げるのに役立つスキルを学生が身に付けることが可能なのです。

フロリダポリテクニク大学が MakerBot イノベーションセンターについて発表したことで、この新大学は世界中で報道され、メーカースペースは大学見学の呼び物となっています。フロリダポリテクニク大学の入学担当副総長スコット・ローズ氏は、次のように述べています。「全米最大規模の MakerBot スペースを所有していることは、学生募集という観点からもとても有利です。センターは入学希望者に圧倒的なインパクトを与えます。そして、彼らは創造できるものに思いを巡らせるのです。」一方、親御さんたちは学位に続く卒業後の進路について考えます。誰の目から見ても、フロリダポリテクニク大学は他校とは一線を隔すことがわかるのです。

同校のイノベーションセンター設立からまだ 1 年も経っていませんが、フロリダポリテクニク大学は MakerBot とのパートナーシップへの投資に対して大きな効果を実感しており、MakerBot との関係はより深まるであろうと考えています。MakerBot イノベーションセンターでは、複雑で大型のものも手軽にプリントできるだけでなく、第 5 世代テクノロジーにより大学の柔軟性が高まり、さらなる改善やイノベーションができるようになりました。「今から数年後にどこへ向かうかは必ずしもわかりませんが、MakerBot イノベーションセンターは当大学がこの先何年にもむたり信頼できるものだ」とハル副学長は述べています。

### MakerBot について

MakerBot は、Stratasys Ltd. (Nasdaq: SSYS) の子会社であり、手頃な価格の信頼性の高いデスクトップ 3D プリンティングのスタンダードを打ち立て、次なる産業革命をリードしています。2009 年に設立された MakerBot は、エンジニア、建築家、設計者、教育者、消費者など、革新的でかつ業界をリードする世界中のお客様にデスクトップ 3D プリンタを提供しています。MakerBot はデスクトップ 3D プリンティング市場で最大規模である 90,000 台以上のインストールベースを擁しています。MakerBot の堅牢な 3D エコシステムにより、あらゆる人々が簡単に 3D プリンティングにアクセスできるようになりました。MakerBot についてのより詳しい情報は、[makerbot.co.jp](http://makerbot.co.jp) をご覧ください。

**stratasys**

製品・サービスに関する  
ご意見・ご要望はこちら  
<http://goo.gl/F1NhfX>



株式会社ストラタシス・ジャパン MakerBot 事業部

〒104-0033 東京都中央区新川 2-26-3 住友不動産茅場町ビル 2 号館 8F

TEL 03-5542-0043 (MakerBot) FAX 03-5566-6360

E-mail [info.makerbot.jp@stratasys.com](mailto:info.makerbot.jp@stratasys.com)

© 2016 MakerBot Industries, LLC. MAKERBOT, MAKERBOT REPLICATOR, MAKERBOT DIGITIZER および MAKERBOT THINGIVERSE は、MakerBot Industries, LLC. の商標、もしくは登録商標です。無断転写、転載を禁じます。

お問い合わせ先